

バタフライ 第 49 回全国レディース卓球大会 実施要項

(※状況により大会要項が変更される場合がございますのでご承知おきください)

- (1) 名称 バタフライ 第 49 回全国レディース卓球大会
(2) 期 日 2026 年 7 月 11 日(土)～12 日(日)
(3) 会場 滋賀トヨタアリーナ (くさつシティアリーナ)
JR 草津駅から徒歩約 10 分
〒525-0027 滋賀県草津市野村 3-3-27 TEL : 077-563-1265
(4) 主催 公益財団法人日本卓球協会
(5) 主管 一般社団法人滋賀県卓球協会
(6) 特別協賛 株式会社タマス
(7) 後援 滋賀県、(公財)滋賀県スポーツ協会、草津市、(公財)草津市スポーツ協会
(8) 競技種目 ①団体戦 (4 単 1 複) ②個人戦ダブルス (合計年齢別)
(9) 試合方法 ①団体戦

(イ) チーム編成

監督 1 名、コーチ 1 名、選手 6～9 名を登録する (ただし、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。競技は 6 名による 1 ダブルス 4 シングルスで行う。なお、選手が監督、コーチを兼ねることは差し支えないが、必ず役職者登録をすること。

(ロ) オーダー順序

1	2	3	4	5
60歳以上	50歳以上	ダブルス	40歳以上	30歳以上

- 1) 出場選手は、シングルスとダブルスに重複して出場することはできない。
- 2) 年齢条件を満たす場合、選手は試合毎に出場年代を変更して出場することができる。
- 3) ダブルスには年齢条件はない。(ただし 30 歳以上同士のペア)

(ハ) 試合方法

- 1) 原則として 3 チームによる第 1 ステージ (リーグ戦) を行い、各リーグの同一順位同士による第 2 ステージ (トーナメント) を行う。
第 1 ステージ、第 2 ステージ 2・3(4) 位トーナメントは 3 ゲームマッチ、第 2 ステージ 1 位トーナメントは 5 ゲームマッチとする。
- 2) 第 1 ステージ (リーグ戦) は、勝敗に関係なく全試合 (5 番まで) 行うものとする。
(例: A 対 B の試合で 3-0 の後、B が 2 点とった場合 3-2 と記録される。)
なお、その記録結果は、リーグ内で試合得点が同じ場合にすべて比率計算対象となる。
- 3) 第 2 ステージ (トーナメント) は 3 点先取で行う。

(ニ) 第 1 ステージ (リーグ戦) の順位決定について

- 1) 第 1 ステージ (リーグ戦) の順位はそのグループ内での勝者を 2 点、敗者を 1 点、不戦敗を 0 点とした試合得点を与えるものとし、試合得点の多い順に順位を決定する。
- 2) 同一グループ内で 3 チームの試合得点が同じ場合は、行われた全マッチの比率計算 (勝÷負) による。
- 3) 2) が同率の場合、行われた全ゲームの比率計算による。
- 4) 全ゲームが同率の場合、行われた全試合のポイントの比率計算によるものとする。

(ホ) 表彰

第 2 ステージ (1 位トーナメント) の 1～3 位 (ベスト 4) を表彰する。

②個人戦(ダブルス)

(イ) 試合方法

2 名の合計年齢で下記 4 種目とし、種目毎に 3～4 組で第 1 ステージ (リーグ戦) を行い、各リーグの同一順位同士による第 2 ステージ (トーナメント) を行う。

第 1 ステージ、第 2 ステージ 2・3(4) 位トーナメントは 3 ゲームマッチ、第 2 ステージ 1 位トーナメントは 5 ゲームマッチとする。

- A. 合計年齢 60～109 歳 B. 合計年齢 110～125 歳
C. 合計年齢 126 歳以上 D. 合計年齢 140 歳以上 (各々が 70 歳以上であること)

※合計年齢の多いペアが合計年齢の少ない種目への出場を認める。(予選方法については各都道府県卓に一任する)

(ロ) 表彰

第 2 ステージ (1 位トーナメント) の 1～3 位 (ベスト 4) を表彰する。

(10) 競技日程

(参加申込数により変更される場合があります)

7月 10日(金)	13:00～	前日受付、前日練習(予定)	※受付は11日も行っております
11日(土)	9:00～	開会式	
	9:30～	団体第1ステージ(リーグ戦)、第2ステージ(トーナメント)	
		個人第1ステージ(リーグ戦)、第2ステージ(トーナメント)	
12日(日)	9:00～	団体・個人 第2ステージ(トーナメント)	
	14:30～	閉会式	

(11) 競技ルール

- ① 現行の日本卓球ルールによる。
- ② 卓球台は(公財)日本卓球協会公認台を使用する。
- ③ ボールは株式会社タマスの「バタフライ スリースターボール R40+」のみを使用する。
- ④ ゼッケンは2026年度(公財)日本卓球協会指定のものを使用すること。
- ⑤ 競技用のユニフォームは(公財)日本卓球協会の公認マークがついたものとし、競技用シャツは明らかに異なった色のものを2着以上持参すること。
- ⑥ ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして(公財)日本卓球協会が公認した接着剤のみを使用すること。
- ⑦ 団体戦において、運営上必要であれば2台進行とする。
- ⑧ 競技領域は、正規の広さより狭まる場合がある。

(12) 参加資格 ①団体戦

- (イ) 参加者は、2026年度(公財)日本卓球協会登録者であること。出場するチームにおいて、監督・コーチは役職者登録、選手は選手登録をしていること。大会時、監督・コーチは必ず役職者章を見えるところに付けること。
- (ロ) 編成チームのメンバーは原則として同一クラブに所属していること。ただし、同一クラブで年齢制限等により編成ができない場合に限り、当該加盟団体長の承認があれば同一都道府県内において混成クラブでのチーム編成ができる。その場合の混成チーム名はいずれかのチーム名を使用すること。
(監督は、申し込みチーム名のチームに登録している役職者とする)
新たなチーム名を使用することはできない。(隣接都道府県での編成は認めない)
- (ハ) 同一クラブでA/B/Cなどに区分して予選に出場することができる。ただし、代表決定後A/B/Cなどのチーム間で選手交換することはできない。
- (ニ) 参加年齢は30歳以上の女性とする。(監督・コーチはこの限りではない)
30歳以上 1997年(平成9年)4月1日以前に生まれた者であること。
40歳以上 1987年(昭和62年)4月1日以前に生まれた者であること。
50歳以上 1977年(昭和52年)4月1日以前に生まれた者であること。
60歳以上 1967年(昭和42年)4月1日以前に生まれた者であること。
- (ホ) 各都道府県代表は、各都道府県卓球協会(連盟)主催の予選会もしくはその他適当な方法により選出されたものであること。
- (ヘ) 選手は バタフライ 第45回全日本クラブ卓球選手権大会 と本大会に重複出場することはできない。ただし予選会は除く。
- (ト) 監督・コーチ・選手の追加変更は、最大で2名までとする。
原則として所属都道府県卓球協会・連盟を通して手続きすること。ただし、直前で追加変更が生じた場合は開会式までに受付で手続きすること。
なお、予選会で敗れたチームからの交換補充はできない。開会式以降の追加変更は認められない。
- (チ) 第48回大会ベスト8のチーム(表1)は、チームメンバーに前年度出場選手4名が含まれていることを条件に無条件出場できる。
- (リ) 外国籍の選手は各試合で1名、単複いずれかに出場できる。(参加申込は2名まで)
- (ヌ) 複数のチームで同一監督が登録することはできない。
- (ル) 整列時に監督およびオーダー記載の出場選手が揃わない場合、当該チームは棄権扱いとなる。

②個人戦

- (イ) 選手は、2026年度(公財)日本卓球協会選手登録者であること。
- (ロ) 同一都道府県内であれば所属の異なる選手同士でペアを組むことは認められる。(異なる都道府県に登録している選手同士でペアを組むことは認められない。)
- (ハ) 参加年齢は30歳以上の女性とする。(1997年(平成9年)4月1日以前に生まれた者)
- (ニ) 各都道府県代表は、各都道府県卓球協会(連盟)主催の予選会もしくはその他適当な方法により選出されたものであること。
- (ホ) 団体戦参加者(監督・コーチ・選手)は出場できない。
- (ヘ) バタフライ 第45回全日本クラブ卓球選手権大会 と本大会に重複出場することはできない。ただし予選会は除く。
- (ト) 第48回大会各種目ベスト4のペア(表1)は、該当する合計年齢の種目に無条件出場することができる。(転勤等により登録都道府県が異なった場合も無条件出場の資格は有効とする)
- (チ) 外国籍の選手は、ペアの内1名のみとする。

(13) 参加数

区分	都道府県名	団体戦	個人戦 (ダブルスA)	個人戦 (ダブルスB)	個人戦 (ダブルスC)	個人戦 (ダブルスD)
1	滋賀(開催地)、東京、愛知、福岡	4	4	4	4	2
2	北海道、埼玉、神奈川、静岡、京都、長崎	3	3	3	3	
3	栃木、千葉、長野、大阪、兵庫、岡山、広島、山口、愛媛、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島	2	2	2	2	1
4	その他の県	1	1	1	1	

※開催地は、総出場数が参加枠を満たさず運営規模に余力があると判断したときは、独自の判断で参加数を増やすことができる。なお、そのチーム選出については本会と主管地で別途協議する。

※第50回(2027年度)大会より、参加枠を下記の通り変更いたします。

【個人戦(ダブルスA)】区分1:4→3枠、区分2:3→2枠、区分3:2→1枠

【個人戦(ダブルスD)】区分1:2→3枠、区分2:2→3枠、区分3:1→2枠

(14) 参加料

団体戦 1チーム 30,000円、個人戦(ダブルス) 1組 5,000円

(15) 申込方法

大会申込システムを使用して申し込むこと。なお、主管地へはデータを本会よりメールで送付する。

参加料は加盟団体より①現金書留または②振込にて、(公財)日本卓球協会宛送金のこと。

① 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square

(公財)日本卓球協会 宛 TEL:03-6721-0921 FAX:03-6721-0931

② 振込先:みずほ銀行 渋谷支店 当座 No5337 公益財団法人日本卓球協会

(16) 申込締切

2026年5月18日(月)までに申込手続きを完了すること。

申込締切日以降は大会申込システムにアクセスできない。締切期日を厳守すること。

(17) 宿泊

後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

(18) その他

① やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛へ指定用紙にて連絡すること。

② 開会式には原則として全員参加すること。

③ 監督会議は行わない。連絡事項は本会HPにて書面(諸連絡)で通知する。

④ 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参してください。けが等をした場合には可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。選手の健康管理は本人の責任とします。

⑤ 大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。

⑥ 個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

【表1】バタフライ 第48回全国レディース卓球大会 団体戦ベスト8チームおよびダブルス各種目ベスト4ペア

〔団体の部〕	
1位. 花野井クラブ (千葉)	5位. Honeys (兵庫)
2位. チーム虹 (兵庫)	5位. COLOR (神奈川)
3位. トヨタスカイ (愛知)	5位. 翡翠 (大阪)
3位. 瑞穂クラブ (茨城)	5位. 卓精会 (東京)
〔ダブルスの部〕 A. 合計年齢60～109歳	
1位. 石井和佳子 (埼玉・さくらんぼ)	3位. 杉山 南 (大阪・個人)
川口 静枝 (埼玉・さくらんぼ)	江頭さつき (大阪・大阪TTC)
2位. 近田はるな (三重・松生TTC)	3位. 秋元 恵 (東京・コメット)
星山 史佳 (三重・松生TTC)	兼子 良美 (東京・浜松卓研)
〔ダブルスの部〕 B. 合計年齢110～125歳	
1位. 小林 眞紀 (愛知・圓クラブ)	3位. 岡持 美紀 (兵庫・outlet)
吉川 美紀 (愛知・圓クラブ)	中山 裕子 (兵庫・outlet)
2位. 石添 容子 (茨城・サンスポーツ)	3位. 赤松 杏子 (大阪・パステル)
荒木美輪子 (茨城・つくば卓球スタジオ)	平井 亜弥 (大阪・パステル)
〔ダブルスの部〕 C. 合計年齢126歳以上	
1位. 小澤 春枝 (埼玉・レインボー)	3位. 三浦 弘子 (東京・杉並卓球クラブ)
松村 孝江 (埼玉・レインボー)	安藤 洋子 (東京・杉並卓球クラブ)
2位. 相田さとみ (茨城・ASPiC)	3位. 岩田 公恵 (大阪・豊中卓球クラブ)
杉山 祥子 (茨城・ASPiC)	原田亜矢子 (大阪・豊中卓球クラブ)
〔ダブルスの部〕 D. 合計年齢140歳以上(各々が70歳以上)	
1位. 岡田 千鶴 (奈良・四季高の原)	3位. 古川 麗子 (埼玉・にんじんクラブ)
吉村千恵子 (奈良・四季高の原)	権野日佐子 (埼玉・にんじんクラブ)
2位. 吉垣 美保 (神奈川・茶の実)	3位. 西脇 恵子 (愛知・明誠クラブ)
平賀須美子 (神奈川・茶の実)	溝尻 淳子 (愛知・明誠クラブ)